

事業番号	05 06 30	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生活習慣病対策推進事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-1 健康づくり・医療充実プロジェクト		課・局・室	保健・疾病対策課		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 1 保健活動の推進 4 医療施策の充実 5 疾病対策の推進		E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H24 ~		
	施策展開						

## 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民が血圧について理解し、適切な高血圧予防に取り組むことにより、脳卒中等心血管疾患を予防する。</li> <li>地域の特性、実状に応じた医療連携体制の方策が検討され、地域において、切れ目のない医療の提供が実現し、良質かつ適切な医療が効率的に提供される事を目指し、地域連携クリティカルパスの導入等により地域の医療機関が連携する医療提供体制の整備を推進する。</li> </ul>										
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の脳血管疾患による死亡数は2,705人、死亡数全体の11%、死亡順位第3位となっている。(平成27厚生労働省)</li> <li>○ 年齢調整死亡率(人口10万人対)が男女とも全国平均より高く、特に女性の脳梗塞が全国2番目の高さである(H22厚生労働省)</li> <li>○ 県内の介護が必要となった者の21.2%が脳卒中を主な原因としている。(H25長野県高齢者生活・介護に関する実態調査)</li> <li>○ 県内の成人男性の約6割、女性の約5割は高血圧者・正常高値血圧である。(H25長野県県民栄養調査)</li> <li>○ 自分の血圧が「正常」または「低血圧」と認識している者であっても、男性の約8割、女性の約3割が、実際は「高血圧」または「正常高値」であり、自分の正しい血圧値を知っている者が少ない。(H25長野県県民栄養調査)</li> <li>○ 高血圧の状況は、該当者の割合は成人の男女共に約4割いる一方で、高血圧予防のために目標に設定されている量(男性9g、女性7.5g)以上に食塩を摂取している県民の割合が約9割(H25国民・健康栄養調査)</li> <li>○ 県民向けの講演会、医療従事者向けの研修事業を実施</li> <li>○ 現在本県の4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)における地域連携クリティカルパスの導入は、地域連携パス推進団体により進められており、地域毎、疾病毎にバラつきのある状況である。</li> </ul>										
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】					国庫補助金の交付主体が都道府県である(感染症予防事業費国庫負担(補助)金)、健康増進法、県保健医療総合計画、健康増進計画、食育基本法、食育推進基本計画、官民一体となった県民運動の展開が必要				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)										
	(1) 血圧の自己管理の徹底:健診受診率向上への支援、講演会・シンポジウムの開催										
	(2) 医療従事者による血圧測定の推進:関係者向けの研修実施										
	(3) 地域連携クリティカルパスの導入率・脳卒中:91.7%以上、急性心筋梗塞:50.0%以上、糖尿病:21.0%以上										
	(1)(2)は事業の実績、(3)は信州保健医療総合計画の指標を成果目標とした。										
② 事業内容 (単位:千円)											
	項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)				
	(血圧測定推進事業) 血圧の自己管理の徹底	直接	講演会・シンポジウムの開催(1回)		368	39	325				
	医療従事者による血圧測定の声かけ促進	直接	かかりつけ医の研修 医療従事者からの血圧測定の声かけ促進のための研修開催(8回)		470	20	471				
	全県的な生活習慣病医療連携体制の整備	直接	クリティカルパスを担う若手医師の育成等を目的とした研修会を開催するとともに、医療機関の研修会への出張講座を開催(1回)		896	274	896				
			合計		1,734	333	1,692				
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	1,762	1,734	1,692				目標	成果		達成状況
	補正予算				県民向講演会	参加者 160人	参加者 150人	参加者 200人	参加者 180人	未達成	参加者 200人
	合計(A)	1,762	1,734	1,692				研修会等の開催	受講者 170人	受講者 120人	受講者 120人
	一般財源	837	838	796	地域連携クリティカルパスの導入率(脳卒中)	91.7%	92.3%	91.7%以上	82.8%	未達成	91.7%以上
	県債				地域連携クリティカルパスの導入率(心筋梗塞)	50.0%	52.4%	50%以上	45.5%	未達成	50%以上
	国庫支出金				地域連携クリティカルパスの導入率(糖尿病)	21.0%	17.2%	21%以上	19.7%	未達成	21%以上
	その他	925	896	896							
	決算額(B)	201	333								
概算人件費	職員数(人)	3.30	3.30	3.30							
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	27,311	26,116	26,116							
		27,512	26,449	27,808							
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民向講演会は、広報や紙媒体を主とした周知を行った。周知期間や周知方法を検討し、参加者を増加させたい。</li> <li>地域連携クリティカルパスの導入については、地域連携のための方法として認識されているものの、地域や医療機関によって実用性の評価が異なる等の要因により導入が進んでおらず、目標を達成できなかった。</li> </ul>										

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後も市町村や郡市医師会等と連携し、住民への正しい知識や生活習慣病予防の啓発を実施する。県民向講演会は、開催時期、周知方法を見直し、より多くの県民に生活習慣病について学んでもらうよう企画していく。また、在宅療養を円滑に進めるツールとしてのクリティカルパス導入に向けた関係者による課題の検討等を通じて導入を推進していく。